

難有ふございました、とうか私にもう一年此の箱を
かして下さいませ、よほとけつこうなものがを
さめてありましょよ」と云ひました。

そこで隠者が笑て申しますには『いや、まうな
りません、しかし此箱の内をさめてありますもの
はあなたの家にもありますのです』とて箱を
開きました、しますと其中には一枚の白紙があり
ましただけほかになんにもありません。

一口ばなし

或處に權太といつて、まことに悪口の男があり
ましたがある年の暮途で友達に出遇つて
いさなり例の悪口を始めました。

權「オイ、貧乏神、この大晦日に不景氣な顔
して何處へ行くのだ。」

「しますと友達もぬからず
友「なーに君の處へ行くんだ」

權太はこの返事を聞いて 忌々しいと思つて別
れましたが 偕てお正月元日になつて廻禮に出
かけた途中、また彼の友達に遭ひましたが 先達
ての悪口に懲りましたから 今度は一寸様子を
かへて。

權「オヤ 福の神さん 今日は何處から」

友「ヤー たつた今君の處から 飛ひ出して來た
んだ」

謎々

- (一) 鉛筆とかけて
- (二) 上手な自轉車乗とかけて

なんとく